

# 仙台司教区 教区事務所だより



(第 16 号)  
昭和 53 年 6 月 1 日

## 祝 落 成

岩手カトリックセンター

岩手県下の信徒一同、また仙台司教区にとって、待ちに待った岩手カトリックセンターの献堂式が5月21日、行われた。

当日、信徒一同の喜びを祝うかのやうに好天に恵まれ、八〇〇人程の信徒が集い、午前11時から佐藤千敬司教司式、管区長ツィゲル師、四ツ家教会主任ヨゼフ師他参列司祭十数名の共唱による献堂ミサが、盛岡白百合のコーラスの流れる中で始まった。御ミサの進行につれて、信徒の心の中に、「オラがセンター」の感、ますます深まるものがあった。

献堂ミサの後、会場を白百合の講

堂に移し、参加者全員による祝賀の宴が開かれた。

△センターの使命▽

(1) 岩手カトリックセンターは、話し合いを通して、できるだけ多くの人々に人間の尊さを感じさせ、人間らしく生きることが何であるかを追求して、皆のため、心の糧と憩いの場となること。講演会、展示会、演奏会などを通して、キリスト教思想、芸術に対する理解を深め、健全な文化の発展のために活動する場となること。

(2) このセンターは、県内の信徒が集い、相互に交流し、信仰体験を分かちあい、研修・黙想・祈りを通して信仰を深め、信徒の使命を自覚し、神と人々に仕える喜びを学ぶところ。また、県内各教会のために必要な各

種情報・資料を収集し、提供し、講演者を紹介、派遣することによって、共通の使命に奉仕するところである。

△センター建設経過▽

へ昭和51年へ2月22日四ツ家教会委員会、ルカ管区長、センター建設について説明。3月5日建設委員会設置。5月4日スイスの建築士ヘルベルト・オーベルホルツァー氏より設計案届く。

へ昭和52年へ1月25日設計到着。2月1日建設委員会設計図承認。2月15日山添設計事務所を選定。3月20日四ツ家教会信徒臨時総会で設計図検討。3月21日最終決定。4月18日聖堂・司祭館を生活学園に移譲することを決定。5月1日旧四ツ家教会最後のミサ。6月20日旧教会解体及び整地完了。7月1日施工大成建設に決定。7月7日契約成立。7月10日起工式。

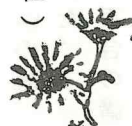
へ昭和53年へ4月27日建物完成引き渡し。5月21日献堂式。

新築に伴い、四ツ家教会並びにセンターの電話番号は次の通り変更になった。

〇一九六一五四一〇五五七

司教様の日程

(5月31日現在)



- 4月6日 八戸・白菊学園教職員始業ミサと講話
- 12日 教区司祭団役員会
- 13日 宗法連・宮城県総務課長 歓送迎会
- 15日 堅信式(松ヶ丘教会)
- 16日 堅信式(篠田教会)
- 19日 仙台教区修女連院長総会
- 24日 邦人司祭月例会
- 25/26日 管区長協議会総会
- 28日 スペルマン病院理事會
- 29日 誓願式(ドミニコ女子修道会)
- 5月5日 新生園・建堂25周年記念式典
- 7日 堅信式(野田町教会)
- 9/10日 典礼司教委員会
- 11日 社会福祉法人理事會
- 14日 聖霊降臨祭・堅信式(元寺小路教会)
- 15日 聖ウルスラ学院新校舎落成式典
- 17/18日 教区法制委員会

- 21日 岩手カトリックセンター祝別
- 23/27日 司教会議
- 29日 邦人司祭月例会
- 6月2/9日 日本女子修道会総長

- 管区長会総会
- 12日 教区司祭団役員会
- 14日 宗教法人責任役員会
- 15日 スペルマン病院看護婦宿舎起工式

- 18日 堅信式(原町教会)
- 25日 司教座聖堂保護の聖人祭日
- 26日 邦人司祭月例会
- 27日 教区法制委員会
- 29日 宮城県カトリック幼稚園 研修会
- 30日 スペルマン病院理事會

仙塩地区司祭集會

役割分担決まる



去る5月22日月曜日、仙塩地区司祭集會(会長ベルナル・トラハン師・北仙台教会主任)が一本杉教会で開かれた。

この集いは、仙台・塩釜地区で司牧宣教に携わっている司祭が、2か

月に一度集まって、親睦を深めながら、地域の様々な問題を話し合い、お互い協力し合う場である。

4月の人事異動に伴い児山六七男師、佐藤守也師の転任となり、それによって仙塩地区の司祭の役割分担の変更を余儀なくされ、前回(3月6日)と今回の集いで左記のように決まった。

記

墓地委員会

委員長 土井文雄師

カナの会

指導司祭 平田 浩師

仙塩地区代表者合同會議

指導司祭 深沢守三師

フォーレ師

エキユニカル

担当司祭 笹氣直哉師

(任期2年・55年3月まで)

仙台教区法制委員会

兪足

佐藤司教が教区長就任以来、教区内の諸制度は、徐々に整備されてきているが、信徒の結婚に関する問題

については、小教区の主任司祭も、時々取り扱いに困難を感じる事柄もあり、これらの整備を目的とした第一回の会合が、5月16日、司教館で行われた。

邦人司祭団からは斎藤石雄師（豊屋町）、安井光雄師（上智大）が、各修道・宣教会からは、各会から選出されたトラハン師（北仙台）、クルノワイエ師（八木山、裁判官）、シュトレーベル師（大船渡）、ゴンザレス師（会津若松）がそれぞれ出席した。

第一回の会合だったので、資料の説明閲覧と、今後の問題の取り扱い方について話し合って終わったが、第二回の会合は6月27日に予定されており、今後の、仙台司教区の教会法上の諸問題がよく整備されることに、大きな期待が持たれている。

## 第六回仙台司教区

### 幼稚園委員会開催



仙台司教区には、教区名儀の幼稚園は41を数え、主に、小教区の主任

司祭が園長を兼ねて、宗教教育を通して幼児教育に努力を重ねている。

宗教法人の公益事業部門に属するこの分野を管轄するものとして、佐藤司教は、昨年5月、仙台司教区幼稚園委員会（委員長・鷹嘴達衛師）を設置した。

同一法人の下にある41幼稚園は、経営形態が一つに統一されることが望ましいが、実際には、その経営管理が各修道、宣教会、並びに邦人司祭団にまかされているので、画一的な統一は難しく、従って委員会の仕事は主に、統一をさぐりながら調整を図り整備することが仕事になっている。今回の委員会は、5月23日、元寺小路信徒館において、4名の委員（鷹嘴師、深沢豊治師、豊田師、梅津師）が出席して次の事項が審議された。

1. 退職金掛率表について。
2. 青森県における、ケベック会管轄幼稚園の邦人司祭団への移管時における退職金支払問題について。
3. 邦人司祭団管轄下幼稚園に共通する給与表の作成について。
4. 青森県総務課より送付された青

森県内教区立幼稚園の学法化措置状況報告書の作成について。

5. 教区立幼稚園の学法化問題について、仙幼委は今後どのような作業を進めるか、その作業内容と段取りについて。
6. 各書類様式の作成について。
7. 邦人司祭団管轄下の52年度会計決算の検討及び、同幼稚園の調査について。

\*\*\*\*\*

### 開校五十周年

#### 東京カトリック神学院



東京関町に在る東京カトリック神学院は、昭和4年、故カンドウ師を校長として開校してから今年で50周年を迎えることになった。

記念行事は、来る11月23日、同校において共同司式ミサをもって始まるが、神学院院長早副稷師は、同校出身者の祝賀行事への出席を希望している。

ちなみに、仙台司教区在籍の邦人司祭は、ドミニコ会出身の佐藤司教と、同校開校前にローマに留学した島田師を除いて、全員が同校の出身者である。

仙台司教区統計(1977年1月1日~1977年12月31日)

I. 概 況

面積.....	45958.58km <sup>2</sup>	信者総数.....	11113人
人口.....	6927081人	求道者.....	311人

II. 人員構成

1. 教区司祭	司教..... 2	3. 修道士	外人修道司祭..... 10
	司祭..... 31		邦人修道士..... 3
	神学生..... 2		外人修道士..... 4
2. 宣教師	司祭..... 43	4. 修道女	邦人修道女..... 289
			外人修道女..... 58
		5. 伝道士	..... 24

III. 施 設

小教区教会.....	57	男子修道院.....	1
分教会(司祭定住).....	1	女子修道院.....	30
巡回教会(司祭不在).....	10	布教所.....	14

IV. 事 業

1. 社会事業	病院..... 1	2. 教育事業	短期大学..... 3
	ベッド数..... 85		学生..... 1155
	診療所..... 1		各種学校..... 1
	年間診察数..... 10098		学生..... 76
	老人ホーム..... 4		高等学校..... 8
	收容人員..... 260		生徒..... 5870
	精薄者施設..... 1		中学校..... 7
	收容人員..... 37		生徒徒..... 1254
	養護施設..... 6		小学校..... 8
	收容人員..... 453		児童..... 2092
	保育園..... 8		幼稚園..... 55
	收容人員..... 589		園児..... 10034
	学生寮..... 1		教会学校児童..... 1662
	入寮者..... 160		子供の要理研究..... 780

V. 秘 跡

洗 礼	成人..... 120	結 婚	信者同士..... 10
	幼児..... 108		非カトリック者と..... 1
	臨終..... 29		非キリスト者と..... 77
堅 信	..... 201		
病者の塗油	..... 66		

VI. 移 動

転 入	教区外..... 132	死 亡	..... 76
転 出	教区外..... 223		

~~~~~\*\*~~~~~\*\*~~~~~\*\*~~~~~\*\*~~~~~

### 司祭評議会 定例総会

司祭評議会は、司牧評議会と並ぶ教区長の教区行政を補佐する諮問機関の一つであるが、邦人司祭団、並びに各修道・宣教会から選出された代表司祭13名によって構成されている。

3月13日、元寺小路教会信徒館において定例総会が開かれ、次の事項

#### キリスト者必読の書

#### 「福音宣教」

教皇パウロ六世使徒的勧告

B6 一一一頁 頒価四〇〇円



この教皇文書は、聖年の閉幕にあたり、一九七五年12月8日付で発表された。現代社会における福音宣教をテーマにした前年秋のシノドス（世界代表司教会議）の論点を集約しており、今日の教会で最も重要な文書になっている。司祭や修道者だけでなく、一般信徒にとっても必読の書。

発行所 宣教司牧司教委員会  
聖パウロ書院で扱っています。

- 1. 司教委員会教区担当者の人選について。
- 2. 終身助祭及び信徒の役割について。
- 3. 一粒会組織について。
- 4. 教区司祭研修会について。

### 人事往来



★フェデリコ・エレイラ師（グアドルペ会）

昨年の3月以来、大湊教会で日本語研修をしていた同師は、この4月から白河教会で司牧宣教に携わることになった。

★相馬信夫司教（名古屋教区長）

4月15～16日、正義と平和仙台協議会の講演会・学習会のため来仙。

★ギ・ラボンテ師（ケベック会）

昭和51年4月以来、白石教会で司牧に携わっていた同師は、4月19日、3年間の予定でカナダへ出発。宣教に関する新しい試みのチームが待っているとのこと。

★エステバン・マルティネス師（グアドルペ会総長）

4月半ば、ジョゼ・チャヴェス師と共に同会の日本管区視察のため来日された。

★沢田和夫師（東京教区）

5月13～14日、黙想会指導のため来仙。

△青年・姉妹の集いV紹介

#### 「青年会」

（元寺小路教会）



「集まってはみたけれど、ただ集まっているだけでいいのだろうか？」  
「我々にできる事は何だろうか？」  
「何かしたいとは思いますが身動きがとれない」という状況にあると言えるのが、元寺小路教会の青年会です。

旗揚げしたのが2月で、できてからまだ3か月とたっていない。

ですから、してきた事といっても大した事はなく、専ら聖堂掃除と例会に精を出しているといった程度です。参加者はいずれも10人前後ですが、皆、教会の中での自分の存在、あるいは自分の生活、人生の中での教会との関わりとは一体何なのか、という問題意識を多かれ少なかれ抱

えているように思えます。従って今後の活動の中で、このような事をテーマにした企画を何かできればと考えています。

例会は、毎月第三木曜日の午後六時から行っています。集まって来る面々は、皆屈託のない人達ばかりです。元寺小路教会にお寄りの際には気軽に声をおかけ下さい。

仙台教区

修道女連盟研修会



5月28日、仙台・一本杉ウルスラ学院を会場として、仙台教区修道女連盟研修会が開かれた。

「修道者と社会とのかかわり」  
ー福音宣教の使命を果たすためにー  
とのテーマの下に、シスター平井（援助会管区長）による「修道者と社会とのかかわり」、シスター福田（メリノール会）による「修道女の新しい役割」と題した講話の後、二つのグループにわかれて話し合いがもたれた。  
午前10時開会、午後3時感謝のミサをもって閉会。参加者60名。

教養セミナーと

記念講演会の 御案内

（岩手カトリックセンター）

オープン記念として、一般教養セミナーと記念講演会が左の日程によって行われる。

6月12日 人間ーそれ自らを超える

もの 岩医大教授 石渡隆司

6月13日 人間ーこの喜びに満ちた

もの ベトレヘム会・ツィゲル師

6月14日 心理学的な人の見方

岩大教授 鬼沢 貞

6月15日 電気工学から見た人間

岩大教授 佐藤 淳

6月16日 人間ーこの美しきもの

白百合校長 立川健代

医学の側から見た人間

医博 真山周栄

6月17日 宮沢賢治の人間観と宗教

教諭 上田 哲

記念講演

6月18日

キリスト教と日本の習俗  
岩大助教授 日置孝次郎



◎◎◎◎◎  
神父の二人展

6月4日から18日まで、「神父の二人展」が、仙台市ガラリイクライネスにおいて開催される。河北展連続8回入選、内二回入賞の深沢師が彫塑を、ローマ留学時代ファッツィーニ（彫刻家）の薫陶をうけた鷹狩師がペン画を展示している。将来の値上がりを見越して、入手したい向きは、お早めに！

\*\*\*

聖地献金 三七八、七五八円に

東方教会聖省長官フィリップ枢機卿の呼びかけに応えて、仙台司教区で、今年初めて行われた聖金曜日の聖地献金は、合計三七八、七五八円となり、教皇大使を通じて同聖省に送られるよう、大使館宛5月25日送金された。

.....  
仙台司教区事務所だより第16号  
昭和五十三年六月一日発行  
発行所 仙台司教区事務所  
980 仙台市本町一丁目2番12号  
TEL 0222 22 7371

